

第80回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）

- 第1 開催日時 令和6年2月22日（木）午後6時30分～午後7時32分
- 第2 開催場所 クリーンプラザふじみ3階研修ホール
- 第3 出席委員 出席25人（欠席2人）
石川英浩（会長）、佐々木善信（副会長）、浅野秀美、伊津野孝雄、
海老沢行子、加藤栄作、川村信市、佐藤翔一、佐野達男、更田俊郎、
宍戸良雄、田中一枝、角田真宏、原谷幸雄、増田雅則、宮下政美、
森田美智子、山内一昌、山田知英美、
荻原正樹（副会長）、上野洋樹、川鍋章人、澤田忍、鷹林勝、山賀則夫
※ 名前の表示は、正副会長を除き、選出区分別五十音順
- 事務局 倉林真理子、伊東達也、岩崎誠、竹内弘子
- 第4 会議の公開 公開
- 第5 傍聴人の数 5人
- 1 開会
 - 2 前回会議録の確認等
 - (1) タイムスケジュールの確認
 - (2) 第79回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について
 - 3 協議事項
 - (1) 令和6年度ふじみ衛生組合地元協議会視察について
 - (2) 令和6年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて
 - 4 報告事項
 - (1) 令和5年度リサイクルセンター更新に係るスケジュール（案）について
 - (2) 武蔵野市とのごみ処理相互支援における令和5年度実績及び令和6年度予定について
 - (3) 施設の運転結果について
 - ア ごみ処理実績（令和5年4月～12月）について
 - イ 環境測定結果（令和5年4月～12月）について
 - (4) 第11回ふじみまつり～三調めのエントツくんまつり～の報告及び令和6年度ふじみまつり実行委員の募集について

5 その他

次回日程について

6 閉会

配布資料

- 【資料1】 ふじみ衛生組合地元協議会委員名簿〔8期〕
- 【資料2】 第80回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール
- 【資料3】 第79回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）
- 【資料4】 令和6年度ふじみ衛生組合地元協議会視察について
- 【資料5】 令和6年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュール（案）
- 【資料6】 令和5年度リサイクルセンター更新に係るスケジュール（案）
- 【資料7-1】 ごみ処理相互支援に関する協定書
- 【資料7-2】 ふじみ衛生組合と武蔵野市とのごみ処理相互支援について
- 【資料8-1】 ごみ処理実績（令和5年4月～12月）
- 【資料8-2】 環境測定結果（令和5年4月～12月）
- 【資料9】 第11回ふじみまつり実施報告

当日配布資料

「リサイクルセンター整備実施計画」

第80回 ふじみ衛生組合地元協議会

令和6年2月22日

1 開会

【事務局】

それでは、定刻となりましたので、第80回ふじみ衛生組合地元協議会を開催します。皆様、お忙しい中、会議に出席いただきまして、誠にありがとうございます。私は事務局のAと申します。

委員の皆様、事務局から3点お伝えします。

1点目です。まず、事務局から事前送付しました資料をご用意願います。お手元に資料がない方は事務局までお声かけください。また、机の上に「席次表」、差し替え版の資料6、資料7-2及び当日配付資料の「リサイクルセンター整備実施計画」を置かせていただいております。このほか、過去に配付したリサイクルセンターの更新に係る資料を青いバインダーに挟んでご用意しておりますが、一部の委員におかれましては机が狭くなるため、後方の机上に置かせていただいております。こちらのバインダーは会議終了後、回収させていただきます。

2点目です。ふじみ衛生組合地元協議会は、設置要綱第7条第3項に基づき、公開とするとしており、会長が必要と認めるときは会議に諮り、会議の全部または一部を非公開とすることができるとしています。このことから、事前に正副会長と相談させていただき、本日の会議からは、非公開とするときのみこの会議の冒頭で諮るようさせていただきます。また、会議が公開のため、傍聴者も既に会場に入場していらっしゃいます。あらかじめご了承ください。

3点目です。本日も会議録作成のため、会場内の発言を録音させていただきます。発言をされる場合は、事務局職員がマイクをお持ちしますので、マイクを使用してお声かけいただきますようお願いいたします。

では、ここから会長に進行をお願いします。

【会長】

皆さん、改めましてこんばんは。本日もお集まりいただきまして、誠にありが

とうございます。本日も限られた時間内で会議を進めますので、説明・質問される際には要点をまとめてご発言いただきますようお願い申し上げます。

それでは、本日の委員の出席状況を事務局から報告してください。

【事務局】

本日の出席者は24人です（後に委員一人が参加）。全委員は27人であり、半数以上が出席されています。「ふじみ衛生組合地元協議会設置要綱第7条第2項」に基づき、会議は有効に成立していることを報告します。

【会長】

ありがとうございました。

2 前回会議録の確認等

(1) タイムスケジュールの確認

【会長】

では、次第に沿って進めさせていただきます。2（1）タイムスケジュールの確認です。資料の5ページ、資料2「第80回ふじみ衛生組合地元協議会タイムスケジュール」をご覧ください。このタイムスケジュールに基づきまして、目安として閉会の時間を7時50分とさせていただきます。委員の皆様、会議の進行にご協力、よろしくお願いいたします。

(2) 第79回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）について

【会長】

次に、次第2（2）第79回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）についてです。前回、11月9日開催の「第79回ふじみ衛生組合地元協議会の会議録（要旨）」について諮ります。該当は、お手元の資料7ページから29ページまでとなります。会議録の内容についてご指摘などありますでしょうか。ご指摘などある方は挙手をお願い申し上げます。

（挙手なし）

特にないようですので、第79回ふじみ衛生組合地元協議会会議録（要旨）を承認することといたします。事務局で公開の手続きを進めてください。

3 協議事項

(1) 令和6年度ふじみ衛生組合地元協議会視察について

【会 長】

それでは、次第に沿いまして、3協議事項に移ります。(1) 令和6年度ふじみ衛生組合地元協議会視察について、事務局から説明をお願いします。

【事 務 局】

お手元の資料31ページの資料4をご覧ください。

令和6年度の視察先の希望調査を皆様に事前にさせていただきました。第1案が町田市バイオエネルギーセンター、第2案が東京たま広域資源循環組合、第3案が硝和ガラス株式会社です。32ページをお願いします。こちらは委員の皆様からの回答をまとめた結果です。町田市バイオエネルギーセンター(東京都町田市)を希望が7件、東京たま広域資源循環組合(東京都日の出町)を希望が3件、硝和ガラス株式会社(茨城県龍ケ崎市)を希望が3件、上記いずれでも良い方が5人、いずれも不参加が3人の結果となりました。また、視察候補日で参加不可の方が少ない日が6月21日(金)でした。町田市バイオエネルギーセンターに空き状況を確認したところ、6月21日(金)の午後に仮予約が現在取れております。

説明は以上です。

【会 長】

事務局の説明は終わりました。

6月21日(金)の午後に町田バイオエネルギーセンターへの視察調整中とのことですが、ご意見やご質問などございますか。

(「なし」の声あり)

【会 長】

ないようですので、6月21日(金)の午後、町田市バイオエネルギーセンターに視察に行くということで、ご承認いただけますでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【会 長】

それでは、異議なしと認めさせていただきます。

出欠確認等、後日事務局から連絡がいきますので、よろしくお願いたします。

ほかにご意見は、ありますか。特になければ、次に進めさせていただきます。

(2) 令和6年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて

【会 長】

それでは、協議事項(2) 令和6年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

令和6年度の地元協議会・安全専門委員会のスケジュールについてご説明いたします。お手元の冊子の資料の33ページの資料5「令和6年度地元協議会・安全衛生専門委員会スケジュールについて」をご覧ください。5月、7月、11月、2月に地元協議会を開催したいと考えております。視察につきましては、先ほどお話がありましたとおり、6月21日を予定、安全衛生専門委員会につきましては6月下旬から7月上旬を予定しております。

次に34ページをお願いいたします。

皆様から、会議開催に当たりまして事前にご都合の悪い曜日等をアンケートでご回答いただきました。出席不可とお答えいただいた曜日と週の人数を記載しております。こちらによりますと、第2、第4金曜日であればご都合の悪い方はいらっしゃいませんでした。また、アンケート結果などを踏まえ、次回の地元協議会から、会議の開始時間を午後7時開始とさせていただきます。正副会長ともご相談の結果、令和6年度につきましては、5月、7月、11月、2月の第4金曜日の午後7時から地元協議会を開催することで進めたいと考えております。このことにつきましては、後ほどご協議いただければと思います。

また、アンケートの回答の中で、オンライン参加も残してほしいのご意見をいただいております。原則対面をお願いしたいのですが、お仕事のご都合や体調面の都合でどうしてもこちらに来ることが難しいという方のために、オンラインでの参加もできるよう事務局側で会場設営をするようにしたいと考えております。この件についても併せてご協議いただければと思います。

事務局からの説明は以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。

5月、7月、11月、2月の第4金曜日は、5月24日、7月26日、11月22日、2

月28日となります。また、委員のオンライン参加につきましても、手段として残すとのことです。

開催日につきまして、皆様、ご意見やご質問などありますでしょうか。ある方は挙手をお願いいたします。

(挙手なし)

よろしいでしょうか。では、特になければこのスケジュールで事務局に進めてもらいます。また、原則、会議は集合形式でのことですが、来場が難しい委員はオンライン参加も可能とのことです。皆さんよろしいでしょうか。

(「異議なし」の声あり)

【会 長】

ありがとうございます。

では事務局、よろしく申し上げます。

4 報告事項

(1) 令和5年度リサイクルセンター更新に係るスケジュール(案)について

【会 長】

次に、次第の4報告事項(1)令和5年度リサイクルセンター更新に係るスケジュール(案)について、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

令和5年度リサイクルセンター更新に係るスケジュール(案)につきまして、ご説明をさせていただきます。

スケジュール(案)に関する資料は6となりますが、その前に、現在進めているリサイクルセンター更新に関する全体計画の概要につきまして、本日、机上配付させていただいております「リサイクルセンター整備実施計画」を用いてご説明をさせていただきます。

こちらの「リサイクルセンター整備実施計画」は、リサイクルセンターの整備を行うために令和5年8月に策定したものになります。初めに、2ページをご覧ください。下の方に、ふじみ衛生組合全体の平面図がございます。本日、皆様にお集まりいただいておりますこちらの研修ホールは「クリーンプラザふじみ」と書かれている焼却施設の3階です。また、右側にオレンジ色で塗られている3つ

の建物がありますが、それぞれ、中央棟、東棟、北棟の3棟を称してリサイクルセンターと呼んでおります。表の中ほどの記載のとおり、各棟の建設年度は、中央棟が平成6年12月竣工、東棟・北棟は平成22年6月となっており、中央棟に至りましては竣工から約29年が経過しているところでございます。

続いて、3ページをお願いいたします。こちらは、現リサイクルセンターにおける課題でございますが、ア～クの8つの項目でお示ししているとおりで、代表的なものをご紹介しますと、アの「施設の老朽化が進んでいる」、イの「プラスチック専用のラインがない」、キの「見学ができない」といったものになります。

続きまして、4ページをご覧ください。こちらの課題を解決するために、「新施設整備基本方針」として、新しいリサイクルセンターの建設に当たっては、①～⑧でお示ししている8つの基本方針を定めて整備を進めているものでございます。

続きまして、7ページをご覧ください。横向きの図面になりますが、新しいリサイクルセンターは、現在の中央棟を解体して、その上の黄色の網線で囲った部分に建設いたします。

しかしながら、中央棟の解体を始めてしまいますと、中央棟で行っている不燃ごみ、プラスチック、びん・缶及び有害ごみの処理ができなくなってしまいますので、その前段で東棟・北棟改造工事といたしまして、中央棟の処理機能の一部を両棟に移設する工事を行います。これは、ふじみ衛生組合が担っている役割でもあります三鷹市及び調布市から搬入される不燃系ごみの処理が中断することがないようにするために必要な措置でございます。

続きまして、13ページになります。図が縦に2つございますが、上段のSTEP1と記されているものが、中央棟の工事期間中における処理対象物を示したもので、下段のSTEP2が新施設建設後の処理イメージ図となっております。

東棟・北棟改造工事を実施することで、これまで中央棟で行っていた不燃ごみを東棟で、また、びん・缶、有害ごみを北棟で処理します。また、プラスチックは焼却による熱回収、そして、計画当初はやむを得ず全量を焼却処理としていたペットボトルですが、三鷹市及び調布市において拠点回収や店頭回収を進めるとともに、ふじみ衛生組合としましても、限られたスペースを有効活用しながら、

リサイクルとごみ処理を両立いたします。

続きまして、16ページから20ページになりますが、こちらは「付帯機能計画」でございます。これらの写真は、環境学習機能や工場見学をイメージしたもので、他市や他団体の先行事例でございます。新しいリサイクルセンターは、プラントメーカーからの提案をベースに内容を決定してまいります。現在のリサイクルセンターには無かった工場見学ゾーンなどの環境学習機能を充実させ、新しいリサイクルセンターが竣工する予定の令和10年度に向けて引き続き、整備を進めてまいります。

続きまして、資料6をご覧ください。こちらは、令和5年度におけるリサイクルセンター更新の作業スケジュール(案)の報告になります。左側の項目に沿ってご説明いたします。

1番目の「施設整備実施計画」につきましては、先ほどご説明したものになりますが、この計画は、令和5年8月に策定し、9月の組合議会で承認をいただいたものでございます。

次に「事業者選定」ですが、新しいリサイクルセンターの更新に向け、事業方式や契約の相手先事業者を選定するために設置した「ふじみ衛生組合リサイクルセンター事業方式及び事業者選定審議会」をこれまで7回開催いたしました。直近では、2月7日(水)に審議会を開催しました。この後、2月27日(火)に組合のホームページ等で入札公告を行い、10月中には事業者を選定する予定でございます。

3番目は、生活環境影響調査です。令和4年度は、冬季となる2月に生活環境影響調査における環境調査として、大気質、悪臭、騒音、振動の調査を行い、令和5年6月に夏季の調査として、同じ項目の調査を行いました。全ての調査が終わりましたら、環境影響調査書を作成した後、調査書の告示・縦覧等を行い、その後、「見解書」を作成して東京都に提出する予定でございます。

下から2番目の東棟・北棟改造工事は先ほどご説明したとおりでございます。

最後に、中央棟解体工事になりますが、こちらは令和5年度の当初に設計事務所と委託契約を締結し、現在、中央棟の解体を行うための設計を行っている最中でございます。中央棟は、この設計書に基づき、適正かつ安全に解体を行う予定です。中央棟の解体工事は、令和7年1月から9月までに行う予定となっております。

ます。

本日ご説明させていただいた以外にも様々な工事や事務手続などを行うとともに、市民の皆様にとりまして安全でより利便性の高い施設の建設を目指していくところでございます。

私からの説明は以上です。

【会 長】

ありがとうございました。事務局の説明は終わりました。

ご意見やご質問などございますか。ある方からは挙手をお願い申し上げます。よろしいでしょうか。

特になければ、次に進みたいと思います。

(2) 武蔵野市とのごみ処理相互支援における令和5年度実績及び令和6年度予定について

【会 長】

次に、次第4(2)武蔵野市とのごみ処理相互支援における令和5年度実績及び令和6年度予定について、事務局から説明をお願いします。

【事 務 局】

昨年11月から新たに委員になられた方がおられますので、ごみ処理相互支援に関する協定書の概要からご説明させていただきます。事前に送付させていただきました資料7-1と本日、机上配付させていただきました資料7-2をお願いいたします。

まずは37ページ、資料7-1をお願いいたします。

こちらは、武蔵野市とふじみ衛生組合がお互いのごみ処理相互支援を図るために協定を結んだものでございます。具体的には適用範囲、第2条といたしまして、(1)ごみ処理施設が定期点検、整備工事等に伴い、その運転を停止し、適正なごみ処理に支障が生じる場合、(2)予測できない緊急事態等により、適正なごみ処理に支障が生じた場合ということで、ごみ処理の相互支援をしております。そして第4条、相互支援量ですが「予定量は概ね年600トンとする。」ということでございます。そして、協定期間でございますが、第7条の2によりまして、「期間満了日の6か月前までに、甲(武蔵野市)乙(ふじみ衛生組合)とも

に異議の申出がないときは、この協定はさらに1年延長するものとし、以後はこの例による。」ということで、具体的には、平成25年度から現在まで、年間概ね600トン、武蔵野市とふじみ衛生組合において、ごみ処理の相互支援を行ってきたところでございます。

また、第76回の地元協議会でご報告させていただきましたが、令和5年度から不燃ごみにつきましてもごみ処理相互支援を開始いたしました。年間600トンの条文は変えずに、可燃ごみと不燃ごみを合わせて年間600トン程度とし、不燃ごみについては年間6トン程度行うこととしております。

この協定に基づきまして、平成25年度以降、相互に搬入された可燃ごみそして不燃ごみの重量は、次の資料7-2の表1のとおりとなります。令和5年度につきましても、武蔵野市からふじみ衛生組合への可燃ごみの搬入が3月11日から22日までの8日間で約300トンと予定しております。また、3月13日に不燃ごみの搬入を約3トンと予定しております。最終的な実績の重量につきましても、令和6年度に入りまして最初の地元協議会でご報告させていただきたいと考えております。

また、相互支援の協定につきましても、1年ごとに双方とも異議の申出がなければさらに1年間延長することとしておりまして、令和6年度につきましても、それぞれの点検日程に合わせて表2のとおり、武蔵野市からふじみ衛生組合へは、5月に可燃ごみは約600トン、不燃ごみは約6トンで、ふじみ衛生組合から武蔵野市へは6月と11月にそれぞれ可燃ごみ約300トン、不燃ごみ約3トンずつ搬入する予定でございます。

武蔵野市との相互支援に関する説明は以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。

事務局の説明が終わりました。ご意見、ご質問などはございますか。ある方は挙手をお願いいたします。

(挙手なし)

よろしいですか。特になければ次に進みたいと思います。

(3) 施設の運転結果について

【会 長】

それでは、報告事項の（３）施設の運転結果について、事務局から一括した説明をお願いいたします。

（ア）ごみ処理実績（令和５年４月～12月）について

【事 務 局】

令和５年４月から令和５年12月までのごみ処理実績につきまして、ご報告いたします。重量につきましては、小数点以下を四捨五入してご報告させていただきます。

初めに41ページ、資料８－１「クリーンプラザふじみの処理実績速報値」をお願いいたします。初めに上のグラフと表になりますが、こちらは可燃ごみの搬入量でございます。可燃ごみの搬入量の合計は５万5,764トンで、令和４年度の５万7,257トンと比べまして2.6%の減となりました。その内訳といたしましては、三鷹市が２万1,555トンで3.4%の減、調布市が２万7,155トンで2.3%の減、リサイクルセンターから出る可燃性残渣が5,022トンで2.0%の減、そのほかといたしまして、広域支援による小平市の可燃ごみが2,032トンで0.2%の増となっております。市民１人１日当たりの可燃ごみは、三鷹市が412グラムで3.3%の減、調布市が413グラムで2.5%の減となっております。令和４年度に引き続き、家庭系ごみが減少する一方で事業系ごみが少し増加をしております。

次に、下のグラフと表をご覧ください。焼却処理後の灰の搬出量でございます。焼却灰、飛灰、鉄分の合計は5,624トンで、令和４年度の5,926トンと比べまして5.1%の減となりました。

続きまして42ページをお願いいたします。こちらは、可燃ごみの焼却量及び焼却に伴う発電量と送電量を月別にお示ししたものになります。12月は、焼却炉をはじめとする設備の定期点検や清掃のため焼却量、発電量が少なくなっており、令和４年度と同じような傾向を示しております。４月から12月までの焼却量の合計は５万3,107トンで、令和４年度の５万4,130トンと比べまして1.9%の減となっております。上段の表の11月の焼却量の実績値でございますが、令和５年度の焼却量が7,044トンで、令和４年度の焼却炉が5,384トンであり、1,660トンの差がございます。これにつきましては、令和４年度よりも５年度のほうが２炉運

転の日数が多かったことによるものでございます。

下段の表に戻りまして、発電量の合計は2万8,812MWhで2.5%の減でした。焼却量の減少に伴い発電量も減少したものでございます。

その右横になりますが、参考までに1日当たり平均の発電量は104.8MWhで、約8,850世帯分の電気消費量に相当するものでございます。また、送電量の合計は2万1,071MWhで、令和4年度と比べまして3.2%の減となりました。その内訳といたしましては、リサイクルセンターが705MWh、三鷹市防災公園が2,277MWh、電力事業者が1万8,089MWhでございました。

続きまして、43ページはリサイクルセンターのごみ処理実績速報値となります。上段のグラフと表の搬入量をご覧ください。搬入量の合計は1万2,726トンで、令和4年度と比べまして3.3%の減となりました。その内訳といたしましては、三鷹市が6,321トンで3.5%の減、調布市が6,405トンで3.1%の減となっております。市民1人1日当たりの排出量は、三鷹市が121グラムで令和4年度と比べまして3.4%の減、調布市が98グラムで3.3%の減となっております。

次の44、45ページは、品目別の搬入量でございます。それぞれ、粗大ごみ、不燃ごみ、プラスチック、ペットボトル、びん・缶の搬入実績と、市民1人1日当たりの排出量につきましては記載のとおりとなっております。ペットボトル以外のごみにつきましては、令和4年度と比べまして減少となっております。

43ページに戻っていただきまして、次に搬出量の実績でございます。中段から下の搬出量のグラフと表をご覧ください。搬出量の合計は1万2,118トンで、令和4年度の1万2,479トンと比べまして2.9%の減となりました。その内訳といたしましては、アルミ、鉄など有償で売却している金属類の合計が1,630トンで3.9%の増、無償で引渡しをしております容器包装リサイクル法の対象品目やリチウムイオンバッテリーなどの二次電池合計が5,151トンで3.3%の減、廃乾電池や廃蛍光管など適正処理に係る費用を負担しております、いわゆる逆有償の品目の合計が315トンで31.6%の減、リサイクルセンターからクリーンプラザふじみに搬出している可燃性残渣が5,022トンで2.0%の減となりました。

なお、有償の表と逆有償の表のところに小型家電の品目がございますが、これは4月から9月までの6か月間は逆有償で搬出しており、10月以降につきましては有償で搬出しているため、令和4年度と比べまして有償は増加し逆有償は

大幅に減少となっております。

令和5年4月から12月までのごみ処理実績の報告につきましては、以上でございます。

(イ) 環境測定結果（令和5年4月～12月）について

【事務局】

続きまして、環境測定の結果についてご報告いたします。お手元の資料46、47ページをお願いいたします。資料8-2「令和5年度 環境測定結果」について説明いたします。前回、第79回地元協議会では、4月から9月分までを説明いたしましたので、本日は10月から12月分について説明いたします。

まず、表の上段をご覧ください。焼却炉等の運転状況でございます。令和5年10月以降の運転状況ですが、11月から12月にかけて年次点検のため焼却炉とタービンを停止いたしました。

次に、その下の段、排ガス測定の表をご覧ください。11月に排ガス測定を実施し、ばいじん、硫黄酸化物、塩化水素、窒素酸化物、鉛、カドミウム、亜鉛、水銀、一酸化炭素、ダイオキシン類について、全て自主規制値または基準値以下でございました。

続いて騒音・振動・臭気・排水の測定と、その下の段、周辺大気の測定につきましては、10月から12月にかけて測定はございませんでした。したがって、次の48ページをお願いいたします、そちらの表1及び表2の右側は空欄となっております。

ページを戻っていただいて、46ページの一番下の段、放射能に関する測定をご覧ください。測定は毎月実施し、焼却灰、飛灰、排ガス、排水においては不検出または基準値以下、空間放射線量率については全て基準値以下でございました。

環境測定の結果は以上でございます。

【会長】

ありがとうございました。

事務局の説明は終わりました。ごみ処理実績及び環境測定結果について、ご意見やご質問などはございますか。

B委員、どうぞ。

【B 委 員】

43ページ、三鷹市と調布市で令和5年の1人当たりの搬入量が違いますが、これは、プラスチックごみの分類の仕方が違うからですか。

【事 務 局】

びん・缶の搬入量が違うということでございまして、調布市のびん・缶につきましてはこちらに搬入されておられません。具体的には、東八道路を府中試験場のほうに行った野川公園を過ぎたあたりに、昔は二枚橋衛生組合の焼却場がありました。その焼却場の跡地に調布市がクリーンセンターという建物を設置しまして、調布市のびん・缶についてはそちらで処理をしているために、ふじみ衛生組合には入ってきておられません。人口は調布市のほうが多いのですが、リサイクルセンターに入ってくるごみは三鷹市も調布市もほぼ変わらないというような状況でございます。したがって、人口で割りますと調布市のほうが1人当たりの搬入量は少なくなってしまうという状況です。

【B 委 員】

表の下のところに※2として、説明書きを入れていただくと分かりやすいと思います。

【事 務 局】

分かりました。ありがとうございます。

【会 長】

B委員、よろしいでしょうか。

C委員、お願いします。

【C 委 員】

排ガス測定のところ、塩化水素の値が1号炉と2号炉で倍以上の差があるようですが、これは燃やしている物が違うのでしょうか。

【事 務 局】

塩化水素でございますが、ごみによって塩化水素が多いもの、少ないものがございます。一方で、除去装置は同じようなものが付いていますので、基本的には入ってきたごみ質に合わせて塩化水素を取るための、例えば苛性ソーダですとか、そういった薬剤を吹き込むのですが、反応がすぐに現れるということではないので、ごみ質によって値が変わってくるということもございます。処理能力に

は差はございません。

【C 委 員】

では、1号炉のほうがごみ質が悪いということですか。7月と11月も同じような状況ですが。

【事 務 局】

その時のごみ質によるということでございます。

逆のときもありますので、長い目で見ていただけると、いろいろと傾向が出てくると思います。

【会 長】

よろしいですか。

【C 委 員】

はい。

【会 長】

ありがとうございます。

D委員、どうぞ。

【D 委 員】

焼却量と発電量の増減率はリンクしないのですか。焼却したものは同じ割合で発電されるわけではないのでしょうか。

【事 務 局】

基本的には、焼却量が多ければ発電量も多くなりますし、焼却量が少なくなれば発電量も減るという傾向はございます。したがって、今回も焼却量がマイナス1.9%で発電量がマイナス2.5%ということで、このぐらいは誤差の範囲と捉えていただければよろしいのかなと思っております。

【D 委 員】

もう一つ、最初に取り決められたものだと思うのですが、送電先について、リサイクルセンター、三鷹市防災公園、電力事業者と3つありますが、調布市には何も送られていないのですか。

【事 務 局】

こちらの施設を造るときに、三鷹市、調布市に、近くに公共施設があれば送れますということで計画を進めさせていただいて、三鷹市については、当初、市役

所にほしいということでしたが、三鷹市役所が1965年（昭和40年）築ですので、送ってもそのうち取り壊すことになるだろうから、新しい施設である中央防災公園のほうに送ってほしいとのことで、送電することになりました。

調布市につきましては、現在ランチ調布という建物がございますが、そちらに送ってほしいという要望はあったのですが、ランチ調布につきましては、PFIといひまして民間主導型の施設ということでございます。ふじみ衛生組合から民間施設に送ることが今の電気事業法上ではできないということで、残念ながら送ることができない状況でございます。完全に調布市役所の建物ということであれば、送電可能だと思っております。

【D 委員】

公共施設であってここから近いところというのが基本条件になるのですか。

【事務局】

いくつかやり方があるのですが、直接電線を引っ張るということであればこの近所に限定されますし、既存の東京電力の電線を使わせていただいて遠くに送るという託送という方法もあります。ただ、託送の条件が非常に厳しいということで、実際には託送という手法は使っておりません。

【会長】

D委員、よろしいでしょうか。

E委員、お願いします。

【E 委員】

例えば段ボールですとか、リサイクルができる紙ごみは、この中には含まれていないと考えていいですか。

【事務局】

三鷹市、調布市については、名刺サイズ以上の紙類は資源ごみということで、紙ごみの日に出していただいています。その紙ごみの日に出していただいた紙類は、直接、古紙問屋に運ばれますので、こちらの焼却施設には入ってまいりません。

【E 委員】

分かりました。

先ほどのお話の中で、家庭系ごみは減少、事業系ごみは増加しているとのこと

でしたが、原因について、教えてもらいたい。

【事務局】

これは新型コロナウイルス感染症の影響でございます。新型コロナウイルス感染症が発生いたしまして、当時、皆さんご自宅にいる時間が長かったと思います。ご自宅で仕事をする方もいらっしゃったと思いますので、一気に家庭系のごみが増えました。今はそれが落ち着いて下がってきている。

一方、事業系のごみにつきましては、新型コロナウイルス感染症が発生いたしまして事業活動そのものがストップしてしまい、事業系のごみが一気に減りました。それが今逆に、事業活動が元に戻ってきましたので、事業系のごみが増えているというような状況でございます。

【E 委員】

分かりました。ありがとうございました。

【会長】

B委員、どうぞ。

【B 委員】

前にも申し上げましたが、SDGsの関連で、CO₂排出量の歴年的な比較のようなもの、ふじみ衛生組合としてのCO₂の排出量は、どこかに書かれていますか。

【事務局】

CO₂の排出量につきましては、年度ごとに取りまとめを行っておりますので、その取りまとめが終わった段階、タイミングでまたお示しをしたいと考えております。

【会長】

F委員、お願いします。

【F 委員】

46ページの排ガス測定のところ、それぞれ、自主規制値から大分低い値ですが、窒素酸化物だけ比較的、自主規制値に近い数字が出ているようです。この位の値が出てしまうものなのか、それとも下げることを目指していらっしゃるのか、教えていただければと思います。

【事務局】

自主規制値に近い、かなり低いという、2つの事例があるというご指摘でございます。確かに塩化水素等については自主規制値をかなり下回っておりまして、窒素酸化物はどちらかという自主規制値に近いという状況でございます。基本的には、下げようと思えば、薬剤を大量に投入すれば下がりますけれども、今度は逆にその薬剤を投入したことによる環境汚染の問題がございますので、私どもとしましては、自主規制値を下回っているのであれば、あえてそれ以上ゼロに近づけるとするのは、本当に環境にやさしいのかどうかという視点からしますと問題があるのではないかとということで、窒素酸化物についてはこの程度にコントロールをしているところでございます。

逆に塩化水素、硫黄酸化物は非常に低くなっていますが、この施設をつくったときからオーバースペックになっていまして、今、逆に、オーバースペックの部分はどうしようかということで、場合によっては薬剤の吹込み量をもっと減らせるような改造が必要かどうか、その辺も含めて検討を行っているところでございます。

【F 委員】

ありがとうございました。

【会長】

G委員、お願いします。

【G 委員】

その塩化水素の件で、これ以前のデータは分かりませんが、廃プラスチック、汚れたビニルを可燃ごみで出せるようになる以前の塩化水素の量と現状の差はどのくらいあるのでしょうか。

【事務局】

「汚れたプラスチックは可燃ごみへ」という収集方法の変更の前後でございますが、塩化水素の濃度はほとんど変わりません。恐らく塩ビ系が多量に入ってくると変わるかもしれませんが、一般市民の方から塩ビ系というのはそれほど入ってこないということもあって思っています。

【G 委員】

汚れたビニールのごみが入ってきていないということですか。

【事務局】

入ってきて焼却はしていますけれども、特に排ガスに影響を与えるほどの量が入ってきていないということと、同じプラスチックでも材質によって、影響を与える材質、影響を与えない材質がありますから、一般の市民の方の出すプラスチックごみは影響を与える材質はあまりないと認識しております。

【会 長】

G委員、よろしいですか。

【G 委 員】

うちは、塩化ビニルであるラップ類を結構出しているのですが、その辺、あまり影響はないということで、それはやっぱりオーバースペックできているからということですか。

【事 務 局】

結局、入ってきたごみからこういった物質が出てくるので、その物質に合わせて薬剤を吹き込みます。そういう面では、多量に発生した場合には多量に薬剤を吹き込みますので、コントロールができていているという状況でございます。

【会 長】

ありがとうございます。

ほかにございますか。H委員、お願いします。

【H 委 員】

47ページ、周辺大気の測定場所について、三鷹市の南浦小学校はわかるのですが、しいの木公園は、どの辺ですか。それから、測定場所は何年も同じですか。

【事 務 局】

この施設ができる前からこの2か所で測っています。場所でいいますと、三鷹市の南浦小はこの施設から北側に500m程度行ったところにございまして、調布市のしいの木公園はこの施設から逆に南側500m程度行ったところにございます。それぞれ夏と冬に測っていますが、風向きが逆になります。冬は、北風ですから、排ガスは北から南、しいの木公園のほうに向かって流れます。夏は南風ですから、ここから北側に向かって、すなわち南浦小に向かって流れます。したがって、北側、南側、それぞれで測定することが非常に重要だということで、この2地点で、施設の稼働する前から現在まで定期的に測定を行っております。

冬の結果は出ていませんが、夏の結果を見ていただきますと、実は稼働前より

も稼働後のほうが大気、空気がきれいになっております。この理由は、焼却場の排ガスだけではなく、大気にはいろいろなところから排ガスが出てまいります。例えば車の排ガス、そういったものも周辺大気には影響を与えるわけですが、東京都は全国に先駆けてディーゼル規制等も行っていますので、大分車の排ガスがきれいになっているということで、施設の稼働前と稼働後を比べますと、稼働後のほうが大気きれいになっているということでございます。

【H 委 員】

分かりました。

【会 長】

ありがとうございます。

よろしいでしょうか。

皆様、事前に配付された資料をよく分析されておられまして、非常に素晴らしい質問をしていただきまして、ありがとうございます。分からないことがありましたら、ぜひ挙手をしてご質問いただければと思います。

特になければ、次に進みたいと思います。

(4) 第11回ふじみまつりの報告及び令和6年度実行委員の募集について

【会 長】

次に、報告事項4(4)第11回ふじみまつりの報告及び令和6年度実行委員の募集についてに移ります。

事務局から説明をお願いします。

【事 務 局】

お手元の資料49ページ、資料9「第11回ふじみまつり（～三調めのエントツくんまつり～）の報告」をご覧ください。

令和5年11月19日（日）に開催した第11回ふじみまつりの来場者数は、過去最多となる4,705人となりました。昨年の来場者数は3,619人で過去最多でしたので、今回はこれを上回る多くの方々にご来場いただきました。参加団体数は32団体で、詳細は49ページから50ページにかけて記載しました各団体の皆様に出展していただき、多大なるご協力をいただきました。様々な催物が大盛況で、来場者が長蛇の列をなし大変混雑した状況でありましたが、事故もなく第11回ふじ

みまつりを開催できましたのは、ふじみまつり実行委員や学生ボランティア、参加団体の皆様のおかげだと深く感謝しております。

続きまして、51ページをお願いいたします。ふじみまつりに関する広報の実施状況を項目番号の5に記載しております。次の番号6には実行委員のメンバーを記載しています。ふじみ衛生組合地元協議会からは、西部住協の会長をはじめ東部住協のH委員、連雀住協のI委員、新川宿町会のJ委員、深大寺東自治会のK委員とL委員に実行委員メンバーとしてご協力いただきました。

番号7は、実行委員会等の開催状況です。

ページをめくっていただいて、番号8の歳入ですが、キッチンカー出店料とフリーマーケット参加費の合計7,000円となりました。

番号9の寄付でございますが、これは、連雀、西部、東部の各住民協議会様の売上金につきまして、各団体のご好意により、三鷹市と調布市の社会福祉協議会に寄付させていただいたことのご報告でございます。53ページに寄付の領収書を添付しています。54ページから61ページにかけて当日の写真を掲載しています。また、62ページには収入と支出の内訳表を添付していますので、後ほどご覧ください。

63ページ「第11回ふじみまつり 成果と課題（要約版）」は、ふじみまつり実行委員会の反省会で出たご意見と出展団体の皆様からのご意見、来庁者アンケートに記載されたご意見、ふじみまつりに従事した職員から出された気が付いた点などをまとめて、課題を整理した上で要約版として作成したものでございます。個別の説明は省略させていただきますが、来年度のふじみまつり実行委員会において、それぞれの課題と改善方法について議題として設定しアイデア等をいただきたいと思います。

来年度のふじみまつりにつきましては、令和6年11月17日（日）の開催を予定していますが、現在、ふじみまつり実行委員会の委員を募集しております。ふじみまつりは、地域の皆様との交流を深め、ごみ減量等の啓発活動の推進を図ることを目的として、平成25年度から開催しております。実行委員会の会議は年4回程度、会議は平日の夜間にございまして、1回当たり1時間から1時間半程度でございます。会議へのご出席に当たり謝礼等はありません。これまでご協力いただいた地元協議会委員の方々はもちろんのこと、新しい委員の皆様にも、令和

6年度のふじみまつり実行委員にご応募いただければ幸いに存じます。ご興味のある方は、来月までに、ふじみ衛生組合の倉林または岩崎までお声がけいただければと思います。実行委員ではなくても、各自治会や団体で店を出していただくことも可能です。ご質問等ございましたら、お気軽にご連絡ください。

説明は以上でございます。

【会 長】

ありがとうございました。

事務局の説明は終わりました。この件につきまして、ご意見、ご質問などはありますでしょうか。ある方は挙手をお願いいたします。

特になければ、次に進みたいと思います。

5 その他

次回日程について

【会 長】

次第5、その他に移ります。次回日程について、事務局から説明をお願いいたします。

【事 務 局】

次回につきましては、先ほど決定しましたとおり5月24日（金）午後7時から、この会場で開催したいと考えております。

以上です。

【会 長】

それでは、次回、第81回地元協議会の開催日につきましては、5月24日（金）午後7時で決定をさせていただきます。

最後に、何かございましたら挙手をお願いします。

副会長、どうぞ。

【M副会長】

事務局にお願いですが、先ほど各委員から非常に熱心なご質問が展開されました。前期からの継続委員と新しい委員がここに参集しているので、資料を作成するときには、やはり先ほどから出ているようなことも考慮しながら、誰が見ても分かるよう、補足説明を加えるなどして作成いただきたいと思いますと私からもお願い

します。

【会 長】

ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。

では、事務局から何かございますか。

【事 務 局】

特にございません。

【会 長】

B委員、どうぞ。

【B 委 員】

議題とは関係ありませんけれど、これから入札が始まるようですが、国立劇場は2回落札業者がいなかった。万博関係も相当落札業者がない。また、能登半島地震の影響で、全体的にゼネコンの需要が相当大きいですから、入札者がいなくて流れるということも十分考えられると思います。その辺、価格設定というのは、どのようにされていますか。

【事 務 局】

価格設定でございますが、プラントメーカーから下見積りを取り、それを参考に近隣の自治体等の状況も踏まえて設定させていただいております。補正予算をいただいておりますので、公表いたしますけれども、建設とその後の20年間の運営を合わせまして209億円でございます。

【B 委 員】

では、予定する業者はありそうですか。

【事 務 局】

確におっしゃるとおり、昨今は建設費が非常に上がってしまして、また、プラントメーカーが、ゼネコンを探してもなかなか見つからないというようなお話も聞いていますので、私どもとしては、ぜひ参加していただきたいということで、逆にこちらから営業に回っているような状況でございます。

【B 委 員】

国立劇場は、一種の名誉受注だから、多少赤が出てもあえて受けていたところもありますが、もう、そういうのは受けない時代になってきているので、そうやってまた落札というのは難しいと思います。

【会 長】

私もB委員のお考えに同調でございます。親戚が大手ゼネコンにいるのですが、やはり物件はあるが人がいない、物資がない、予算が低いと大変苦勞しているようでして、こちらのリサイクルセンターの改築が予定どおりに進むことを祈るしかないと思っております。

ほかに何かございますか。よろしいでしょうか。

6 閉会

【会 長】

それでは、以上をもちまして第80回ふじみ衛生組合地元協議会を閉会といたします。

皆様、大変お疲れさまでございました。ありがとうございました。

— 了 —